



今年も新年の活動の最初は初詣です。放課後等デイサービスは1月5日に地域内の羽田神社、生活介護は1月6日などに、車いすでも行ける平八幡神社に行きました。みんな慎重な面持ちで今年の平安を祈ってきました。写真からも分かるように、落ち着いた様子で参拝することができました。

まゆ玉づくり



季節の行事を大事にしているいっぽですが、今年も小正月のまゆ玉づくりをしました。今回も地域の方から「飾り物」をいただきました。放デイだけでなく生活介護でも作成し、施設内に飾りました。

新春カルタ大会



冬休み企画として、放デイではカルタ大会を実施しました。みんなで楽しく遊べて、知らず知らずのうちにことばや文字の勉強にもなり、一石二鳥のカルタですが、みんなで参加したのがとても有意義で、和気あいあいとして、とてもいい雰囲気でした。

災害時の避難体制(BCP)

能登半島の災害は人ごとではありません。当地方でも同じような災害があったときの対応について、気仙沼市担当各課と連携して相談中です。



いっぽ営業中の大災害であれば、利用者は保護者の方と連絡がつくまでいっぽで預かる予定です。

体制や準備物を整えて避難態勢づくりをしています。また、災害時の業務継続計画が義務化されることに伴い、その計画も立案中です。どんな災害が起ころうとも利用者の命を何が何でも守る施設でありたいと思っています。



生活介護 白鳥見学

生活介護では、寒さをぬって、大谷の菖蒲沢憩いの広場に白鳥見学にでかけました。安全のために少人数で何回かに分けて実施しています。風が強かったり、寒さが厳しかったりして、車中からの見学にもなりましたが、みんな満足そうでした。

働きがいのある職場づくり

宮城県から「福祉分野における人材確保のための業務改善事業所」の指定を受けて、利用者へのサービス向上、より良い職場、利用者が過ごしやすい福祉施設を目指して職員一丸となって改善に取り組んでいます。結果は、3月に県庁での報告会で発表予定です。